

Windows8 の紹介

1) Windows8 の特徴 (概要)

- Windows8 はパソコンとタブレットの両方の顔 (実行環境) を持っている。
- タッチ操作に対応していることが大きな特徴だが、マウスとキーボードでも操作できる。
- スタート画面上でタブレット風の「ウィンドウズストアアプリ」を動かすことができる。
- デスクトップ画面上で Windows7 とほぼ同じように、「デスクトップアプリ」を動かすことができる。
但し、スタートボタンがないので、「すべてのプログラム」の表示や、「シャットダウン」の方法が異なる。
- Windows7 と比較して起動や、シャットダウンやアプリの起動がかなり速い。

2) 「デスクトップアプリ」を使うための基本操作 (マウスとキーボードによる操作)

○スタート画面とデスクトップ画面の切り替え方

スタート画面



デスクトップ画面



注) +D とは、ウィンドウズキーを押しながら D キーを押すこと。

デスクトップアイコンをクリックするか、 +D キーを押すと、デスクトップ画面が起動する。

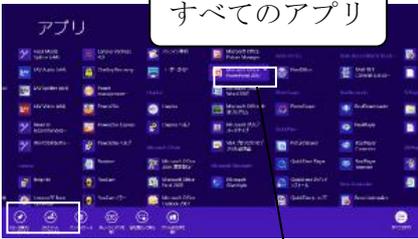
画面の左下の隅にカーソルを合わせると出てくるスタート画面のアイコンをクリックするか、 キーを押すと、スタート画面に切り替わる。

○すべてのアプリ (プログラム) の出し方

何もないところを右クリック



すべてのアプリ



スタート画面の何もないところを右クリックすると出てくる「すべてのアプリ」をクリックする。すべてのアプリがスタート画面いっぱいに表示されるので、画面を左右にスクロールして探す。

○アプリをスタート画面やタスクバーに登録する方法

すべてのアプリの画面でアプリのタイルを右クリックすると下にアプリバーが出てくるので、スタート画面やタスクバーにアプリを登録できる。

右クリック



クリックするとデスクトップのタスクバーに登録される。

○シャットダウンの方法

スタート画面の右下隅にマウスのポインターを合わせると「チャーム」というメニューがでてくるので、そのまま真上にマウスを動かし、「設定」をクリックする。





「設定」をクリックするとパネルが開き、その下の「電源」からシャットダウンや再起動が行える。

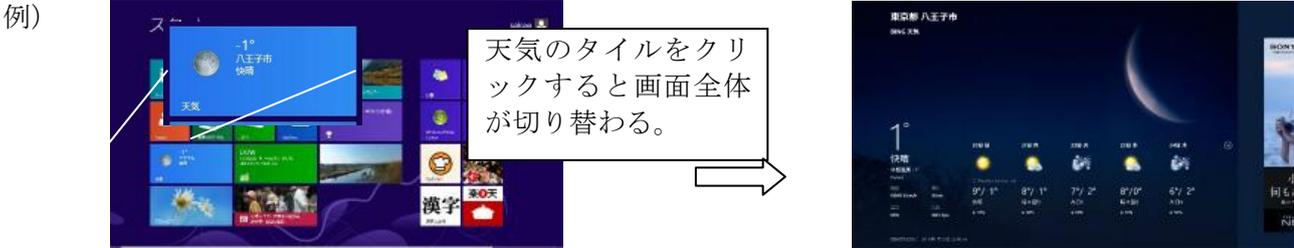
Windows8 の紹介

3) 「ウィンドウズストアアプリ」の基本操作

ストアアプリはタブレット風のアプリでタッチ操作に対応している。標準で付属する主なストアアプリとして「インターネットエクスプローラー」、「メール」、「フォト」、「天気」、「ニュース」、「カレンダー」、「ファイナンス」、「地図」、「ビデオ」、「ミュージック」などがある。その他、いろいろなアプリを「ストア」からインストールできる。

○アプリの起動方法

スタート画面のタイル状のアイコンをクリックすると、アプリが起動する。(全画面表示)



○スタート画面に戻るには、デスクトップからスタート画面に戻る方法と同じ。(前頁参照)

○画面上にメニュー (アプリバーやナビゲーションバー) を出す方法

ストアアプリの画面上で右クリックすると、画面の上部と下部にメニューが出てくる。



○ストアアプリを終了する方法

画面の上端にマウスを合わせ、マウスが手の形になったら、下までドラッグする。



ショートカットキーによる終了方法
Alt + F4
 Alt キーを押しながら F4 キーを押す。

○起動中のストアアプリを切り替える方法

画面の左下隅 (または左上隅) にマウスポインターを合わせ、続けて真上 (真下) に動かすと、起動中のストアアプリが一覧表示される。その中のアプリをクリックして、切り替える。



ショートカットキー:
 キーを押しながら Tab キーを何回か押して選択する。

○ストアアプリをインストールする方法

スタート画面から「ストア」を起動。最初は「マイクロソフトアカウント」でサインインすることが求められる。無料と有料のものがあるが、選んでインストールする。

